



## 疎油性コーティングの塗布方法

疎油性コーティングをスマートフォンやタブレットのタッチスクリーン上に塗布します。時計やメガネにも適用できます。

作成者: Arthur Shi



## はじめに

疎油性コーティングキットとこのガイドを使って、お持ちのデバイスのスクリーンもしくはスクリーンプロテクタに疎油性コート塗布しましょう。このキットはメガネや時計、スマートウォッチなどの他のガラス表面にも使用できます。

コーティングには8-12時間が必要です。この作業をする時間帯は、ベットに入る前です。

## 疎油性コーティングキットとは？

現代のスマートフォンには、スクリーンを保護し、なめらかさを取り戻し、指紋による汚れを軽減できる疎油性(撥油剤)コーティングが塗布されています。このコーティングはフルオロポリマーベースの固体(テフロンに類似)の薄いレイヤーでできています。

しかしながら、疎油性コーティングは時間の経過と共に劣化しすり減ってきます。スクリーン上に油脂が残っていたり、簡単に指紋で汚れてしまうことに気づくはずですが。

### ツール:

- [マイクロファイバー製クリーニングクロス](#) (1)
- [Isopropyl Alcohol 70%](#) (1)
- [Ziplock Bags](#) (1)

### 部品:

- [Anti-fingerprint Oleophobic Coating Kit](#) (1)

## 手順 1 — 表面をクリーニングします



- まず最初にイソプロピルアルコールでタッチスクリーン全体を綺麗に拭き取り、指紋、汚れや油脂などを除去します。
- マイクロファイバークロスで綺麗にスクリーンを拭き取ります。

## 手順 2 — ワイプ作業の準備をします



- i** 次の作業に進む前に、次の3つの手順を読んでください。疎油性コーティングは液体溶剤のため、塗布するとすぐに気化します。そのため作業は素早く行わなければなりません。
- プラスチックバックの一片を使って、指先をラップします。サンドイッチ用バックやサランラップで対応できます。
- i** カバーした指先を使って、スクリーン上にコート用溶剤を擦り込みます。こうすることで、指先から溶剤を吸収するのを防ぐことができます。

## 手順 3 — 表面にコーティングを塗布します。



- スクリーン表面に疎油性コートに10-15滴垂らします。
- i** 大型スマートフォンやタブレットなど表面積の広いものをコーティングする際は、スクリーンの一辺に10滴ずつ垂らして作業を行い、さらに別の一辺に移動して同じ作業を繰り返します。

## 手順 4 — コーティングを散布します。



- 液体が蒸発するまで、さっと軽くワイプしながら指先で表面を滑らせます。
- ⓘ 強くこする必要はありません。コーティング粒子を蒸発前に表面に広げる程度です。
- 表面上にのみ液体を塗布してください。残りの表面についても同じ作業を繰り返します。

## 手順 5 — コーティング時間を設けます



**⚠** コーティング作業が終わってから少なくとも8-12時間はスクリーンをタッチしないでください。スクリーンをより長く放置すれば、コーティングの仕上がりはより効果的です。

ⓘ 最善の方法は、寝る前にコーティング作業をしておくことです。睡眠中、コーティングがしっかりと仕上がります。

- 最後に、綺麗なマイクロファイバークロスでタッチスクリーンに残ったコーティングの残留を拭き取ってください。
- この作業を2-3回繰り返すと、しっかりとした耐久性のある疎油性コート性能を最大限に作れます。

正しく作業を行なってください。デバイス上に綺麗に疎油性コーティングが作れます。

デバイスは依然として指紋が残りますが、油脂の量はかなり軽減され、簡単にワイプできるようになります。

必要に応じて、1-2ヶ月ごとにコーティングを塗り直してください。